

## ファンタジー カラーモルタル 厚塗り工法

カラーモルタル厚塗り工法とは（鏝で3~10mmの厚みで塗る工法です）

### 【概要】

基本的には一般のセメントでモルタルを施工する要領と同じです。

使用するカラーハードナーの別用途として土間塗り・壁塗り・タイル、レンガなどのカラー目地・セメント造形・スタンプコンクリート・ステンシルコンクリート・どろコンなど

### 【下地処理】

良い仕上げには既設の表面の下準備が極めて重要です。

下地の表面の汚れ（油、グリース、泥等）はコンクリートクリーナーを使って落とします。

リフォームなどでは下地を清掃しカビが生えている場合はカビ落としをします。

コンクリートの表面が塗料で着色してある場合は、洗浄する前に塗料剥離剤かコンクリートグラインダーで削り取ります。

大事なものは浮が生じないように下地処理をすることです。

### 【下地プライマー塗布】

フロープライマー（1リッター容器 = 2.0㎡ : 18リッター容器 = 36.0㎡）

まず下地のコンクリートに余分な湿気がないかどうかを確かめ、専用のフロープライマー1に対して水4の割合で混合液を作ります。柔らかい場合は、ローラーを使って溶液を1~2度塗りします。

コンクリートが非常に古く、浸透しやすいものであれば、フロープライマー1に対して水4の割合で作った溶液をたっぷり浸透させる事を繰り返し行わなければならない場合があります。

### 【材料の攪拌】

（三和土の土間やドロコン仕上げの場合のみ）

カラーハードナー + プライマー溶液（5倍液） + 適量の砂やマサ（10kgまでOK）  
（水 4 : プライマー 1）

10mm仕上の厚塗りの場合は砂の混ぜても構いませんが下記の要領をお願いします。

- ┆ 駐車場など強度が必要な場合は場合、砂は混ぜないで下さい。
- ┆ 砂を混ぜると地域により砂の色が違い、仕上がりの色が変わります。
- ┆ ドロコンの場合、砂やマサ土を任意に10kg程度混ぜて調整しても構いません。



お好みのハードナー20kgを**水 3.5 リター**又は上記の要領で作った**溶液 3.5 リター**を加えて、マゼラーで5分間ほど攪拌し、5分間ほど間隔を置いて再度2分間ほど再攪拌します。

### 【カラーハーデナー鍍塗り】

下地のほこりなどを清掃後、下地にプライマーを塗ります。  
プライマーが乾燥後、上記の様に攪拌した材料を鍍で塗ります。

20kg 袋で    3 mmの塗厚で    4 ~ 5 m<sup>2</sup>をカバーします。

### 【シーリング】

トップコートをシーリングする事で、汚れ防止やカラーも濡れ肌の鮮やかな色を保つことが出来ます。

上塗りシーラー    # 3 2 0 0    2 0 リッター    2 回塗りで    5 0 m<sup>2</sup>

暖かで、仕上げ吹きが完全に乾いていれば、シーリングも同じ日に行えます。上塗りシーラー（#3200）を2回塗ります。シーラーはできるだけ薄くムラ無く塗ってください。温暖あるいは熱い場所ではシーラーを厚く塗りすぎると、コンクリートの表面や目地に泡を生じる原因となります。その場合シーラーを最大限 15%溶剤で薄めて塗ると効果的です。気温が高い日は、一日のうちで最も涼しい時にシーリングしてください。シーラーは柔らかいハケ・専用ブラシかローラー、またはエアレススプレーガンで塗布してください。

### 【使用上の注意】

**雨天の場合や気温が5 以下**では乾燥・養生時間が大幅に遅れるので、工事は避けた方がよいでしょう。また表面温度が 40 を超える場合も早乾きや養生に影響を及ぼすのでお勧めしません。

したがって、気温が非常に高い日には、テントや作業部分に日陰を作るとよいでしょう。

本製品を使用者の指定場所に納品後の貯蔵管理は使用者が十分に管理して下さい。

納品後の雨濡れや湿気による硬化などに関しては販売元の関知するところではない為一切の責任は負いかねます。

使用者は本製品が使用目的に適うものであるか確認してください。異なった目的に使用する場合は、使用者の責任において用いてください。

